

令和3年度 三刀屋高等学校(年間評価と今後の改善策) 4段階評価

A:十分に達成できている状況

C:どちらかといえば達成できていない状況

B:概ね達成できている状況

D:ほとんど達成できていない状況

今年度重点目標		自己評価			学校関係者評価		
		R3 肯定的回答の平均(%)	R2 肯定的回答の平均(%)	評価	概要と今後の改善策	評価	
1	授業の充実 (1)「三高トライアングル学習」の強化による「学力育成推進プラン」の推進 (2)新課程を見据えた教材研究・授業改善 (3)試験問題や学習評価の工夫 (4)ICT活用教育の推進 (5)図書館の利活用の推進	80.0	80.0	B	<p>■「授業改善に対する評価」「授業と家庭学習の連携」について、いずれも生徒・保護者評価は昨年とほぼ同じであった。多くの教科・科目でICT機器を活用した授業が実施されており、授業改善や理解しやすい授業づくりにつながっている。次年度は、新1年生への一人1台端末導入を契機にGoogle Classroomを活用したICT教育の実践に注力したい。</p> <p>■例年実施している「公開授業」「学習時間調査」等の実施方法を改善し、生徒の学力向上につなげたい。特に「学習時間調査」については、生徒に効果的・効率的な学習方法を助言することができるよう方法を模索したい。また、多様な学力・進路希望を有する生徒を指導する上で仕掛けを教科主任会・教科会・学年部と連携しながら考えていきたい。</p>	B	<p>■5年目を迎えた「三高トライアングル学習」の取組は評価している。少しずつ見えてきた課題については今後対応して欲しい。</p> <p>■1人1台端末・ICT環境の整備により、学力向上につなげてほしい。</p> <p>■ICT機器の利用にあたっては、学びが内在化できるよう工夫してほしい。</p> <p>■改善策にあるとおり、学習方法がわからない生徒に対しても有効なアドバイスを行ってほしい。</p>
2	キャリア教育の推進 (1)三年間の見直しとねらいの明確化、振り返り (2)地域資源の活用、多様な文化や価値観との出会い (3)教科学習、進路実現との連携	78.7	76.1	B	<p>■教職員・保護者評価の「各学年に応じた進路情報の提供」について評価が低くなっている。3年間を見通した進路計画の見直しを行い、保護者が必要としている進路情報の提供に心掛けたい。また、生徒評価の「進路目標を達成するための取組」について評価が低くなっている点については、今年度から希望者対象とした土曜講座への参加が少なかったことが影響していると考えられる。コロナ禍により外部講師を招聘しにくい状況が続いているが、よりよい開催方法を検討していきたい。</p> <p>■昨年度と比較し概ね評価は上昇傾向にある。定例の授業担当者会や学年を越えた教員の関わりにも効果があったと考えられる。「未来Ⅱ」(2年生)については、生徒評価が上昇した。前期に個人研究、後期にグループ研究とそれぞれ取組方法を変えて実施したことが奏功したと考えられる。総合学科としての本校の特色を再考し、コンソーシアムと連携しながら保護者・地域への情報発信に努めたい。</p>	B	<p>■総合学科の優位性は何か？そこをもっと打ち出すべきだと思う。</p> <p>■総合学科である三刀屋高校は、卒業後の進路先も多様である。その“多様性”をアピールポイントにしていくこともできる。“多様性”を踏まえたOB・OGのロールモデルを示していくことも有効である。</p>
3	部活動等の活性化 (1)部活動の活性化 (2)生徒会や生徒発の活動の推進など生徒主体の活動の活性化 (3)異校種や他校との交流の活性化 (4)それぞれに出番や認められる機会の創出 (5)活躍や魅力の積極的発信 (6)力を合わせ責任を果たす心の育成	89.6	91.0	A	<p>■部活動についての評価は教職員、生徒、保護者とも概ね高い評価を得ている一方、保護者からは休養日の設定や帰宅時間についての意見もいただいている。今一度、部活動のあり方を振り返り、適切な休業日の設定、活動時間の遵守、活動終了後の速やかな下校指導を徹底したい。</p> <p>■生徒会・JRC部で協働し、昼休みのパン販売を実現するなど生徒発の活動を推進できた。今後も、あいさつ週間など生徒会企画を提案し活動を進めていきたい。</p>	A	<p>■部活動のあり方については、教員の「働き方改革」からの議論はもちろんのこと、生徒にも勉強や部活動以外のことにも触れることができる時間(余裕)を与えるという点からの議論があってもよい。</p> <p>■部活動については、限られた時間で最大の効果を生み出そうとする土壌の醸成から進めてほしい。</p> <p>■第2回学校評議員会において、生徒の様々な取組や思い、地域との強い結びつきを知ることができてとてもうれしく感動した。</p> <p>■三刀屋高校は、広い視野を持てるよう生徒を全力でサポートしてくれていると思う。三刀屋高校のよさを地域に対して明確に発信してほしい。</p>
4	安心・安全な学びの環境づくり (1)支持的風土の醸成 認め合い、高め合い、励まし合い… (2)読書推奨などによる広い視野と豊かな感性の育成 (1)人権教育・道徳教育の推進 (2)生徒理解と組織的な支援 (3)教育環境・生活環境・職場環境の整備と快適化	94.1	90.8	A	<p>■いじめ防止について、生徒・保護者とも高い評価となっている。アンケートの方法を工夫したり、いじめ認知件数をあげる意識の定着を図ったりして未然防止に努め、顕在化しにくい事案に対応していきたい。</p> <p>■生徒の読書離れが進んでいると感じる。今年度は、学級文庫や昇降口に図書コーナーを設置し生徒の読書意欲喚起に努めたが、さらに効果的な工夫・対策を考えていきたい。</p> <p>■「自他の生命や人権を尊重する態度の育成」について、教職員・生徒・保護者とも高い評価となっている。コロナ禍における誹謗・中傷への注意喚起等の啓発動画の発信やホームページを利用したメッセージ配信も効果があったと考えている。引き続き人権意識を高めるための効果的な活動を検討し、さらに全校で他者を尊重する空気をつくってきたい。</p> <p>■制服に関して、今年度、制服検討委員会を立ち上げ、ジェンダーレス制服導入に向けた生徒・保護者へのアンケートを実施した。引き続き、生徒・保護者の要望等を反映させながら進めていきたい。校則全般についても見直しを進め、適切な対応について検討していきたい。</p> <p>■個別的教育的ニーズを必要とする生徒への支援については、特別支援教育に係る校内研修や生徒支援委員会の開催など、担任ばかりでなく他の教員も生徒の特性の理解や支援に努めた。年々支援のあり方は多様化しており、プロジェクトを早期に立ち上げ、定期的に行うことで、生徒に見合った支援を行う必要を感じている。</p> <p>■新型コロナウイルス感染症防止については、毎日の健康観察シートの記入・提出、換気や黙食の取組などを通じて生徒の意識も高まってきた。また、業務アシスタント配置による消毒作業のほか、二酸化炭素濃度計測器や加湿器の設置を進めるなど環境面においても対応を進めた。</p> <p>■「健康で安全に生活できるための学校の支援」について、保護者評価がやや低くなっている。紙媒体で発行している「保健だより」のホームページ掲載等も含め、情報発信に努めていきたい。</p>	A	<p>■生徒の読書離れについては、読書意欲喚起だけでは効果が少ないと思う。著名な方の講演機会を設けるなどの工夫も考えてほしい。</p> <p>■安全な学びの環境を提供しようとする学校の姿勢は、日々の学びを根底で支える生徒と先生方の間の信頼関係を確かなものにしていくと考える。</p> <p>■年4回のきめ細かいアンケート実施を通して「いじめ」までは至らなくとも人間関係における生徒の悩みや不安、心のざらつきを丁寧すいあげ、学校として適切に対応しているように思う。</p> <p>■コロナ禍で社会がギスギスしており、特定の人を非難するような風潮がある。総合的な人間力を養成していくために人権教育を幅広く行ってほしい。</p> <p>■人権感覚を身につけておくことは、成熟した大人になるための条件なので、人権教育に引き続き力を入れるべきだと思う。</p>
重点目標以外で評価を求めたい項目		92.9	91.9	A	<p>■昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に係る緊急連絡に加え、部活動大会結果や各種行事イベントの様子など日々の教育活動について、ホームページや三高メール、Classiを利用した情報発信に心掛けた。次年度に向けて、現在ホームページのリニューアルに取りかかっている。「学校だより」などの紙媒体と合わせ、より良い情報発信ができるよう努めていきたい。</p>	A	<p>■三刀屋高校は地域の要として大切な学校である。“地域とともにある学校”を目指してほしい。</p> <p>■地域とともにある学校として、「学校だより」の内容を工夫するなど地域への情報発信に力を入れてほしい。</p>